

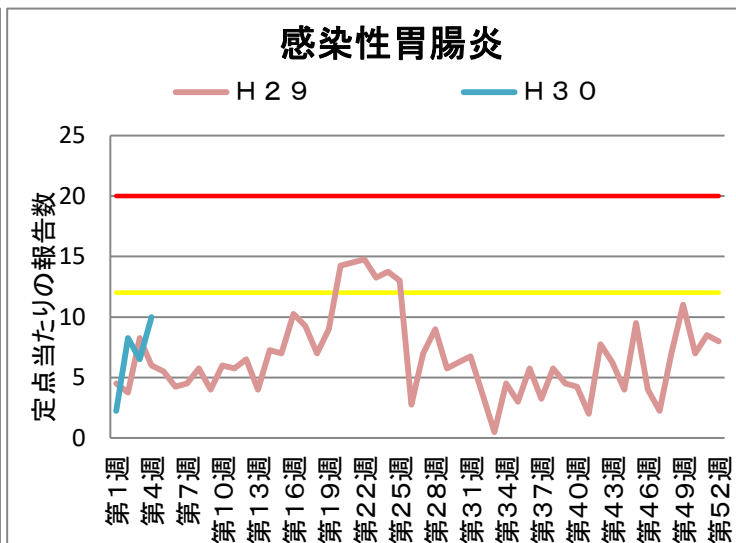
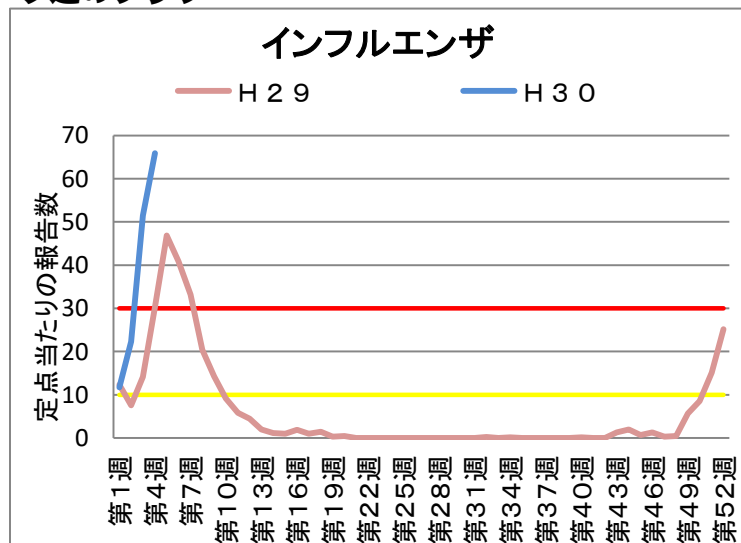
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 4 週 平成30年1月22日 ~ 平成30年1月28日

今週のコメント

○ インフルエンザの報告はさらに増加し、近年最大の報告数(定点あたり65.86)となり、流行警報レベルが続いています。乙訓地域においても、A型もB型も流行しています。
○ 感染を予防するために帰宅時などの手洗いを心がけましょう。また、咳症状がある場合はマスクを着用し「咳エチケット」に努めましょう。
○ 小児・未成年者がインフルエンザにかかった時は、抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無にかかわらず、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、徘徊するなどの異常行動や異常行動と関連すると考えられる転落死等が報告されています。インフルエンザになった小児・未成年者は、少なくとも2日間は一人にしないようにしましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	65.86	手足口病	0.25
RSウイルス感染症	0.25	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	10	流行性耳下腺炎	0.25
水痘	1.5		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

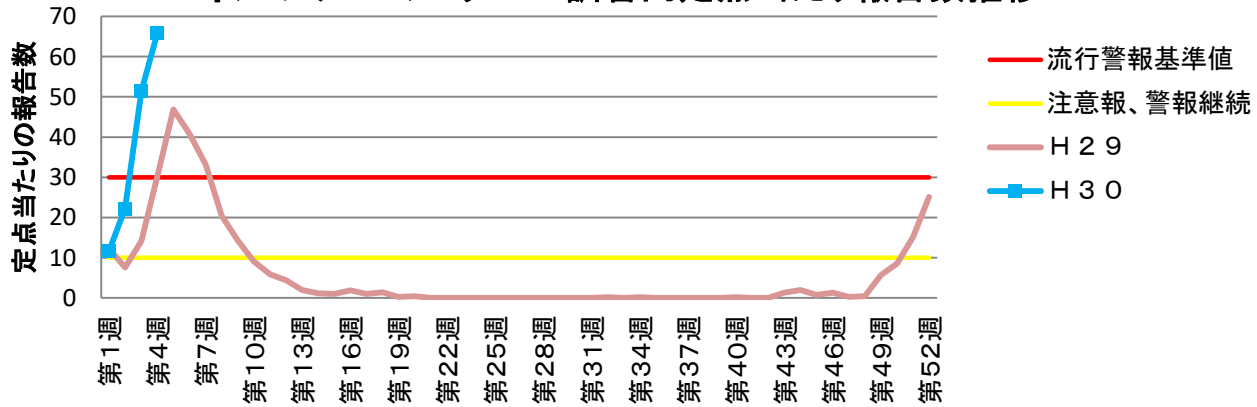
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

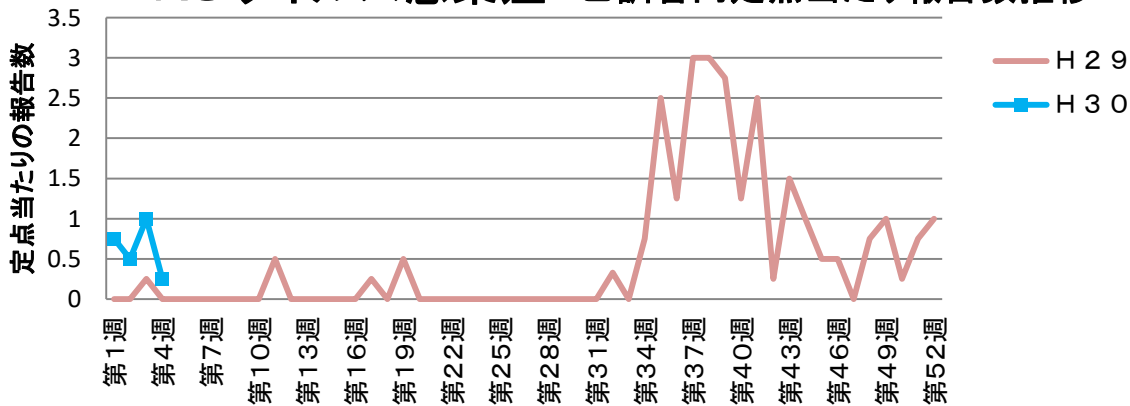
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

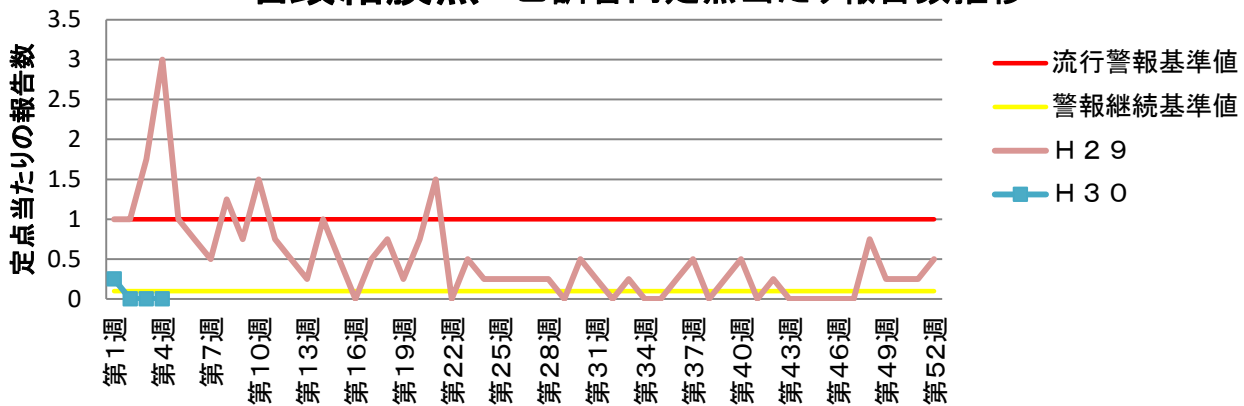
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



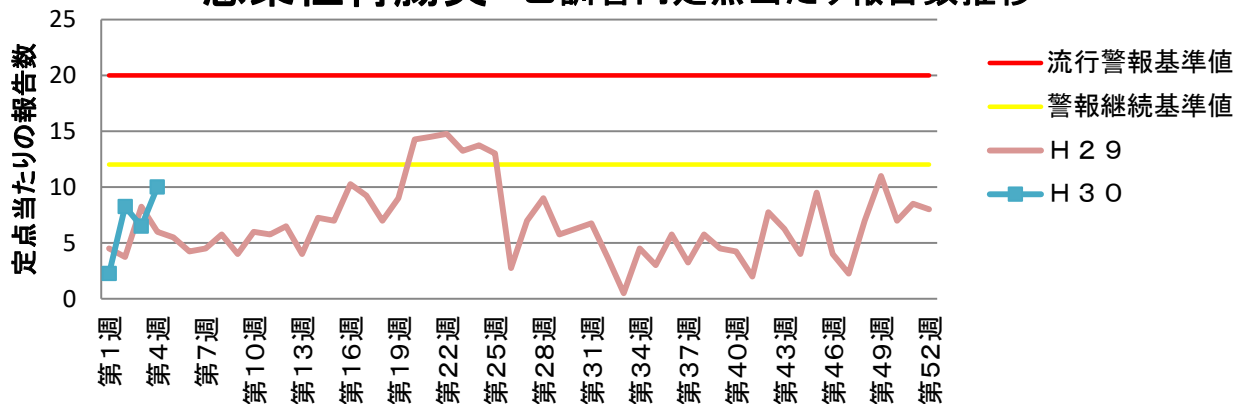
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



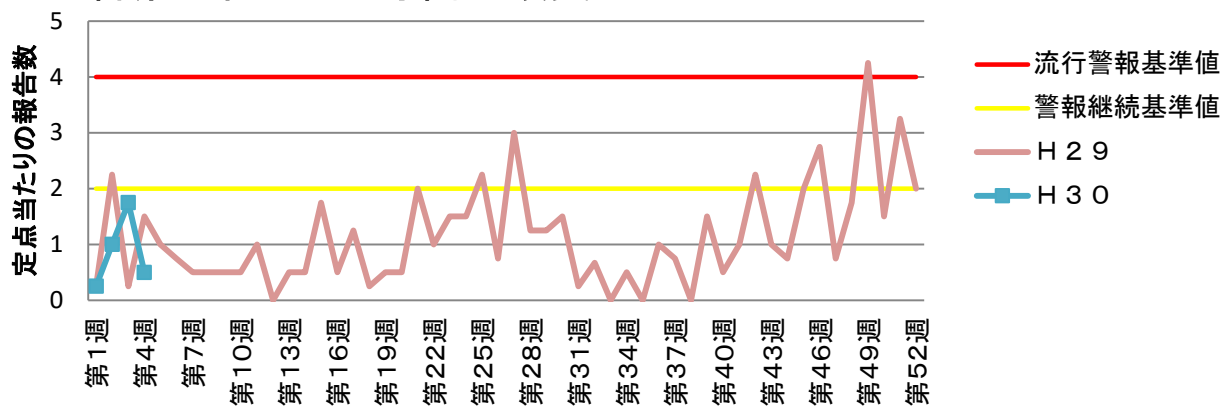
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



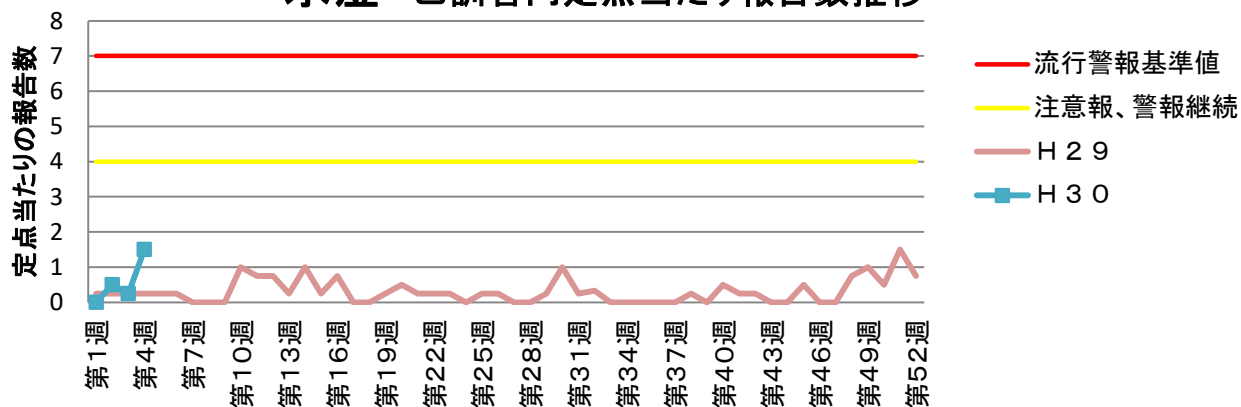
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



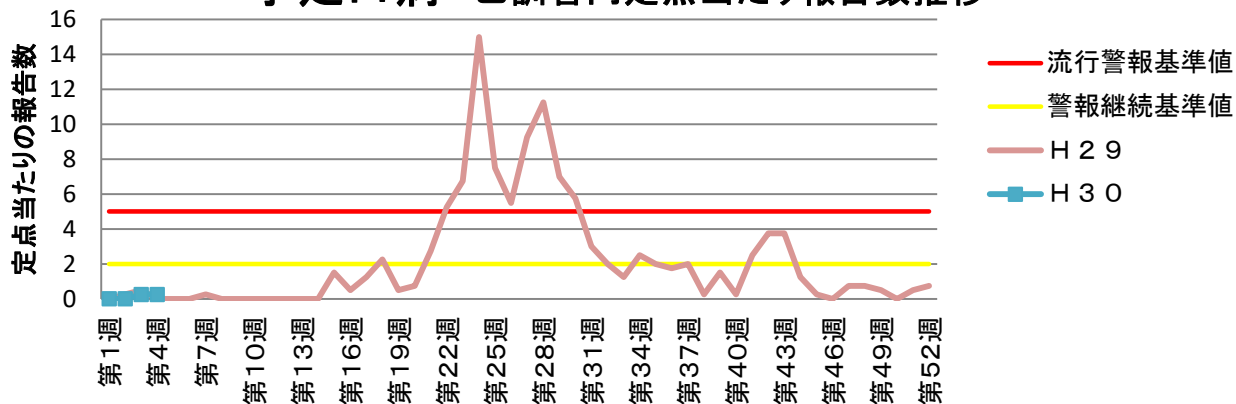
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



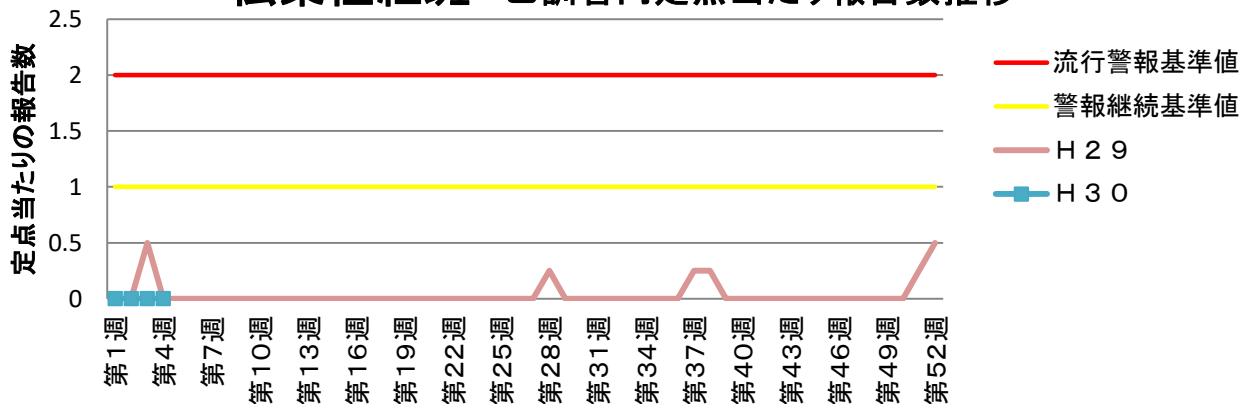
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



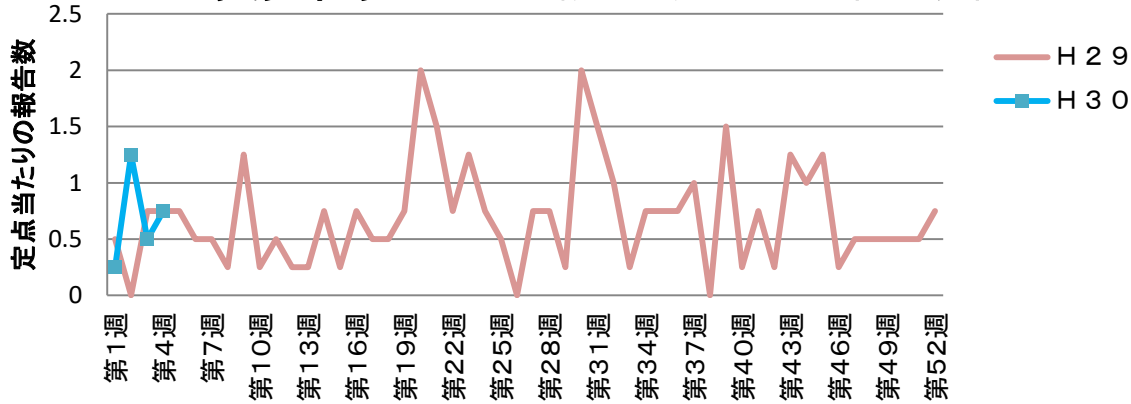
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



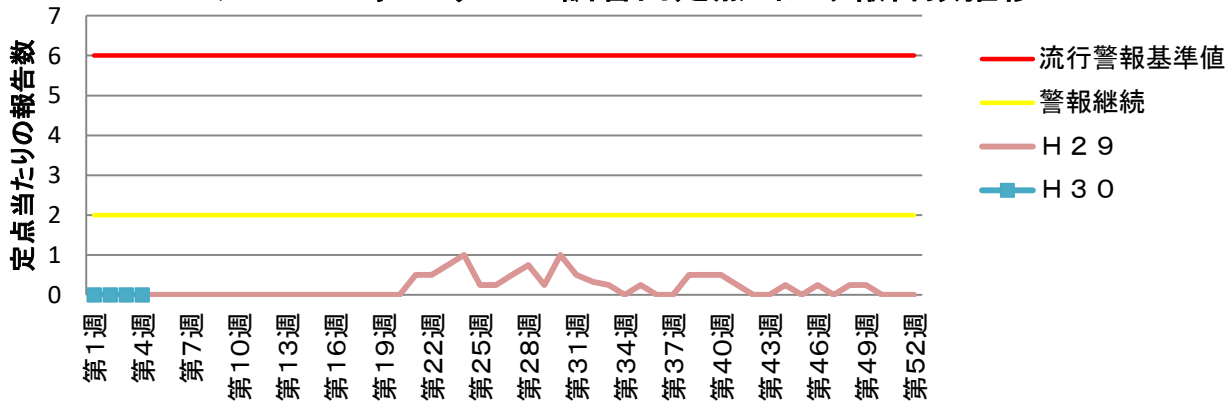
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

